情報科学部のディプロマ・ポリシー

情報科学部では、情報科学に関する基礎学問や技術を網羅的かつ体系的に学び、汎用性の高い情報関連の技能を修得し、それぞれの志向に応じた専門領域の高度な知識や技能を身につけ、様々な課題に対してそれらを駆使した解決への取り組みが行えるようになることを目標とする。また、身につけた知識や技能をもとに、社会の健全な発展のため、情報技術者として自律的に学びを深め、広めていくことができる力を養う。情報科学部が定める所定の単位を修得する過程で、以下の要件を満たした者に対して、卒業を認定し学位を授与する。

1 情報科学の基礎知識と理解

- 基礎理論と数学的理解：情報科学に関する基礎理論、情報に関する数学、計算機の原理を深く理解している。
- 原理と技能の習得：情報の原理・数理、情報処理・数値計算、ソフトウェア開発・計算機による問題解決、論理的・計算論的思考に関する知識と技能を身につけている。

2 専門領域の高度な知識と技能

各自の志向に応じて、以下のいずれかの専門領域における高度な知識と技能を有している。

- 情報システムに関する情報科学の関連分野
- シミュレーション科学に関する情報科学の関連分野
- 知能メディアに関する情報科学の関連分野
- ロボティクスに関する情報科学の関連分野

3 汎用的技能と態度

- 課題発見と解決能力：課題を発見し、知識や技術を活用して効果的な解決策を提案・実行できる。
- 問題解決への取り組み：複雑な問題に対しても粘り強く取り組み、創造的な解決策を見出すことができる。
- コミュニケーションと協働：多様な人々と効果的にコミュニケーションを図り、共同作業を通じて目標を達成できる。

4 倫理観と自己主導型学修の実践

- 倫理的責任感：情報技術者としての高い倫理観を有し、社会的責任を理解して行動できる。
- 自己主導型学修の実践：自らの興味・関心に基づき、学修目標を設定し、自律的に学びを深め・広め、継続的に自己の専門性を向上させることができる。計画的かつ継続的に学修・研究活動を遂行できる能力を有している。特に、卒業研究や卒業制作において、自律的に課題を発見・設定し、主体的に解決に取り組むことができる。